

2.事業目的

「Hatch Technology NAGOYA」とは

技術の研究開発や社会実装を促進し、先進技術を有する企業等の集積を図るため、様々な課題に対応する先進技術を活用した社会実証を支援する事業。(令和元年からスタート)

本日
ご説明
対象

(1) 課題提示型支援事業

本市が提示する課題の解決を図る社会実証について、実証に向けたマネジメントや経費の支援等を実施

(2) フィールド活用型支援事業

施設等のフィールドを活用した社会実証について、産学官によるネットワークコミュニティにおいて、先進技術を有する企業の提案とのマッチングや実証に向けたマネジメント等を実施

(3) 先進技術体験事業

先進技術に関する理解を深めるとともに、社会への実装に向けた受容性を高めるため、本市の社会実証に市民が広く参加できる体験イベントを実施



3.実証プロジェクトの件数と支援の上限額

12件の課題で企業募集を行い、実証プロジェクトは8件を実施予定です。

区分	行政課題	社会課題	新型コロナウイルス感染症関連課題
企業募集件数	6件程度	3件程度	3件程度
実証プロジェクト件数	4件	2件	2件
支援の上限額	700千円/件	4,000千円/件	4,000千円/件

※ 行政課題とは、行政における業務改善やサービス向上に関する課題

※ 社会課題とは、社会が抱える様々な分野における課題

※ 最終的な区分は、ヒアリングの結果から事務局が判断します。



4. 募集中課題

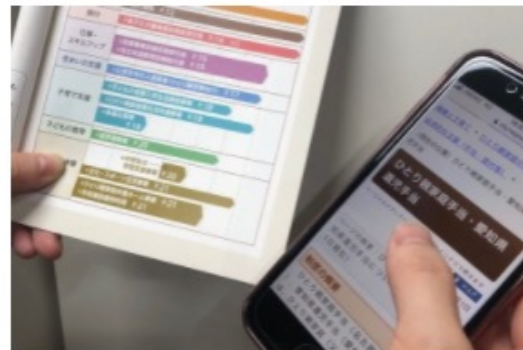
行政課題



遅延なく的確な避難情報発令を!膨大な情報をもとにした危険度判断支援ツールの開発

防災危機管理局危機対策室

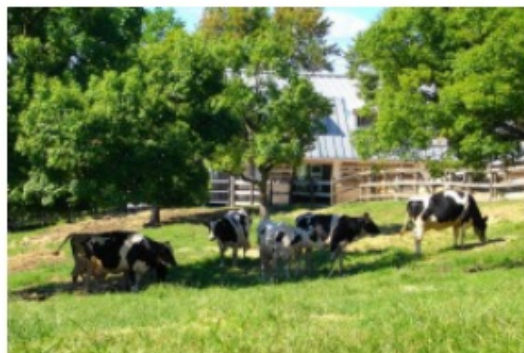
降雨状況や河川の水位情報、各災害の危険度分布情報などを監視・集約し、避難情報の発令判断を助けるシステムの構築・検証



ひとり親家庭の負担を軽減したい!手続きサポートシステムの構築

子ども青少年局子ども未来企画室
中区役所保健福祉センター福祉部

仕事や家事、育児で忙しいひとり親家庭向けに、簡単な入力で疑問解消や支援制度提案を受けられるツールの開発・実証



学校・おうちでできる新しい農業体験でdelaふぁーむをもっと知ってもらいたい!

緑政土木局農業センター

コロナ禍で減ってしまった農業振興の機会を増やすため、先進技術を活用した参加型農業体験講座などを実証



「これ何ごみ?ごみの分別区分ってわかりにくい...。」市民のごみに関する「?」をいつでも簡単に解決したい!

環境局作業課

スマートフォンのカメラを使ってごみの分別区分を判断するツールの開発・実証



4.募集中課題

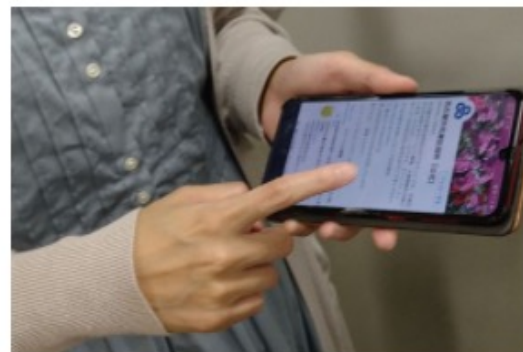
行政課題



**画像認識aiを使ったバスのod
データを取得し、利用者ニー
ズにあわせた路線設定を実現
したい!**

交通局管理課

市バスの乗降口に設置したカメラを使って
ODデータを取得するツールの開発・実証



**SNSを分析し、もっと多くの
声を名古屋市の市政に取り込
みたい!~名東区の魅力発見か
ら始めてみよう!~**

スポーツ市民局広聴課
名東区役所企画経理室

SNSなどのソーシャルメディアの情報を分析
し、市の行政サービスや事業の質向上に資す
る仕組みづくりが可能かを検証



4. 募集中課題

社会課題



AI・音声解析など、新しい技術で特殊詐欺被害に立ち向かいたい!

スポーツ市民局地域安全推進課

AIによる音声解析などを活用した特殊詐欺被害の防止ツールの開発・検証



金城ふ頭来訪者への最適なアクセスルート案内ツールの開発

住宅都市局名港開発振興課
観光文化交流局MICE推進室

レゴランド®・ジャパン・リゾート、メイカーズピア、リニア・鉄道館、国際展示場等の来訪者に快適に楽しんでいただくための港湾物流と調和したアクセスルート案内ツールの開発



「最先端モビリティ都市」の実現に向けて、先進技術を活用して人の動きを調査したい!

住宅都市局交通企画課
名古屋市都心部の一定エリアの自動車や歩行者等の動きを把握する技術の開発・実証



4. 募集中課題

新型コロナウイルス関連課題



大規模イベント会場内の滞在人数即時計測システム～ウィズコロナ時代における安心・安全なイベント開催を目指して～

観光文化交流局MICE推進室

コロナ禍での大規模イベントにおける入場者数の把握・管理を手間なく精度高く行う手法の構築



XR技術を活用してコロナ禍でも臨場感ある上下水道工事地元見学会を実施したい!

上下水道局建設工事事務所

上下水道工事への理解を深めてもらう工事見学会を、安心・安全に実施するXRコンテンツの開発



コロナに負けるなナゴヤ!AIを駆使した予測と啓発で、新型コロナに打ち勝ちたい!

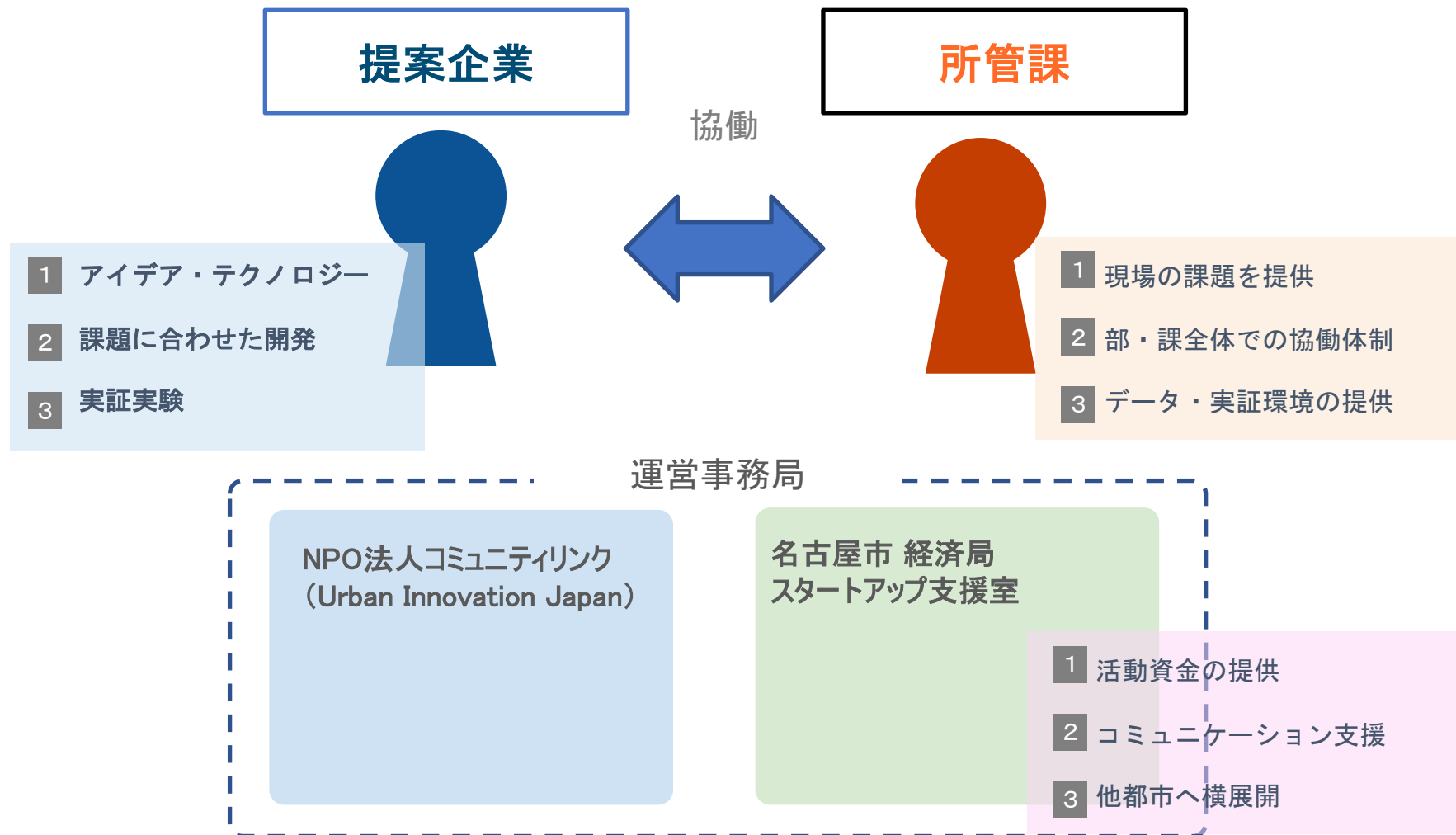
防災危機管理局危機対策室

情報入手手段の異なる高齢者と若者に対して効果的な啓発や感染防止対策を進めるためのAI分析、施策立案ツールの開発



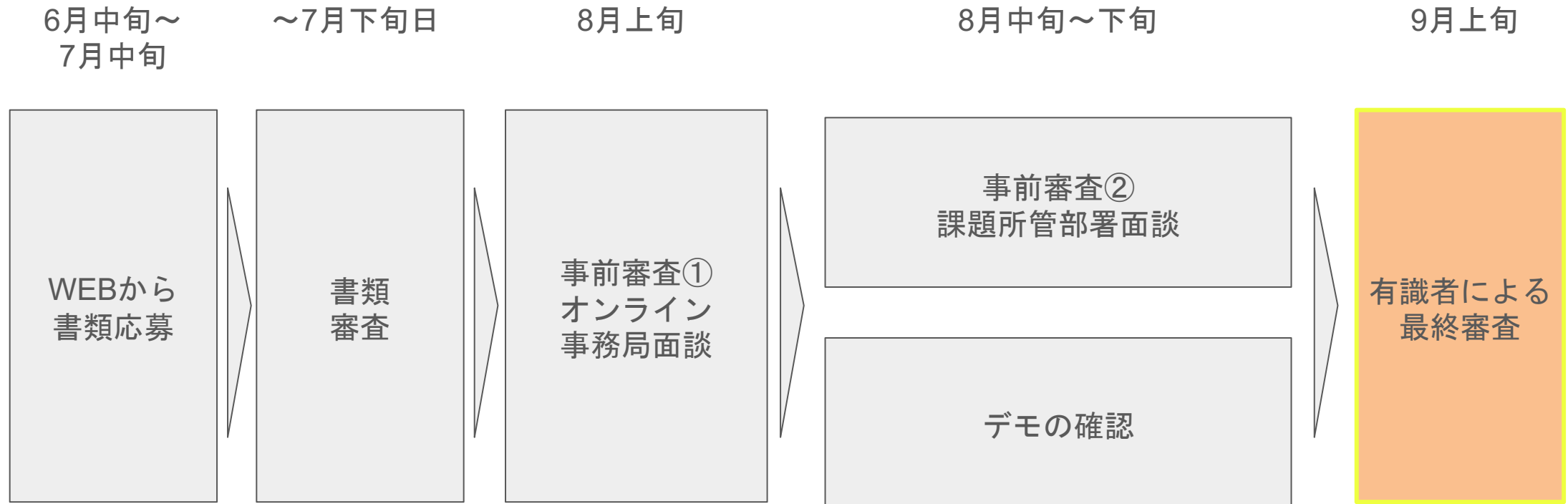
5.体制

スタートアップ支援室、および、コミュニティリンクがプロジェクト期間中伴走します。



6.選考プロセス

4つの段階で審査を行います。



7. 審査基準

先進技術の社会実証を行い、名古屋でのモデルを作り、全国へ展開できるサービスを目指します。

審査項目	内容	配点
チームの優秀度	チームメンバーが優秀でバランスがよいか	15
課題の理解度・効果	テーマを適切に理解し、実現可能な解決手法になっているか 提案された解決手法により高い改善効果が認められるかどうか	25
職員との協調性	職員と協働しながらより良いサービス開発を進める熱意があるか	15
新規性・創造性	他のサービスと差別化できる要素を持っているか 行政関連分野で商用化されていないか	20
継続性・収益性	ビジネスモデルが構築できているか 事業継続できる収益基盤があるか 他都市への横展開が可能なビジネスになっているか	20
地域との連携	将来的に名古屋地域への貢献、立地などが見込まれるか	5
合計		100



8.協働の進め方（イメージ）

ブラッシュアップを繰り返しながら、課題解決に資するサービスを協働で開発・実証を行います。

協働期間(イメージ)



お問い合わせ

- ・ 運営

- ・ NPO法人コミュニティリンク Urban Innovation JAPAN事務局
urban_innovation_japan@communitylink.jp
- ・ お問い合わせフォーム
<https://www.hatch-tech-nagoya.jp/solution-contact/>

